

平成24年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年9月14日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 サンオータス
 コード番号 7623 URL <http://www.sunautas.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年9月14日

(氏名) 北野 俊
 (氏名) 古川 晴男

TEL 045-473-1211

配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年4月期第1四半期の連結業績(平成23年5月1日～平成23年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年4月期第1四半期	8,118	11.9	△57	—	△58	—	△96	—
23年4月期第1四半期	7,256	△3.1	25	—	20	—	△41	—

(注) 包括利益 24年4月期第1四半期 △97百万円 (—%) 23年4月期第1四半期 △46百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年4月期第1四半期	△30.43	—
23年4月期第1四半期	△13.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年4月期第1四半期	14,189	3,417	24.1
23年4月期	13,570	3,546	26.1

(参考) 自己資本 24年4月期第1四半期 3,417百万円 23年4月期 3,546百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年4月期	—	0.00	—	10.00	10.00
24年4月期	—	—	—	—	—
24年4月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年4月期の連結業績予想(平成23年5月1日～平成24年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,800	4.3	120	△8.1	110	△8.8	35	6.0	11.00
通期	33,000	4.3	350	11.1	300	7.1	150	18.2	47.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年4月期1Q	3,230,500 株	23年4月期	3,230,500 株
24年4月期1Q	49,370 株	23年4月期	49,370 株
24年4月期1Q	3,181,130 株	23年4月期1Q	3,181,162 株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	サマリー情報（その他）に関する事項	4
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3.	四半期連結財務諸表	5
	(1) 四半期連結貸借対照表	5
	(2) 四半期連結損益計算書 及び四半期連結包括利益計算書	7
	四半期連結損益計算書	
	第1四半期連結累計期間	8
	四半期連結包括利益計算書	
	第1四半期連結累計期間	8
	(3) 継続企業の前提に関する注記	9
	(4) セグメント情報	9
	(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
	(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による生産活動の停滞に加え、円高や原材料価格の高騰による企業部門の収益環境の悪化や、厳しい雇用・所得環境に伴う消費マインドの後退により景気の先行きの不透明感が拭えない状況にありました。

当社グループの属する自動車関連業界は、震災等の影響による生産台数の減少という一時的な要因も加わって新車販売台数は激減し、消費者のエコカー・省エネ志向の高まりとともに、輸入車販売は引続き苦戦を強いられました。

また、自動車燃料油販売業界も全国需要が縮小する中、当社グループの営業地盤である神奈川県においても需要は低迷し、SS（サービスステーション）間の販売競争も激しく、厳しい経営環境下に置かれました。

このような状況のもと、当社グループではグループ部門間のシナジー効果の最大限の発揮を意図した業務運営に取り組んだ結果、売上高は8,118百万円（前年同四半期比861百万円増加、11.9%増加）となりました。利益面では、価格競争による粗利益の減少に伴い、営業損失57百万円（前年同四半期は25百万円の営業利益）、経常損失58百万円（前年同四半期は20百万円の経常利益）となり、法人税等負担後の四半期純損失として96百万円（前年同四半期は41百万円の四半期純損失）を計上しました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。なお、セグメント間の取引については、相殺消去前の数値によっております。

ガソリンを中心とした燃料油やカーケア商品の販売事業及び車検・整備事業を運営するライフエネルギー事業部門の売上は3,666百万円（前年同四半期比412百万円増加）、セグメント損失は47百万円（前年同四半期比29百万円増加）となりました。

主力商品であるガソリン販売は、東日本大震災の影響による需要の後退により販売数量が大幅に減少し、価格面でもSS間の競争は熾烈で、仕入価格の変動分をタイムリーに販売価格に反映させることが困難な状況が続きました。直販部門における大口需要家向け軽油・灯油販売の増加と原油価格が高値圏で推移したことに伴う燃料油販売単価の上昇及び環境対策として手掛けている自動車エンジン洗浄機器の販売数量の増加等により売上高は前年同四半期を上回りましたものの、適正な利鞘が確保できなかったことによりセグメント損失は増加しました。

レンタカー事業、保険代理店及び中古車売買・斡旋事業を運営するカーライフサポート事業部門の売上は334百万円（前年同四半期比5百万円増加）、セグメント損失は7百万円（前年同四半期は23百万円のセグメント利益）となりました。

当事業の中核であるレンタカー部門においては、法人契約の推進と個人顧客に対する短時間利用等、多様なメニューの提供により稼働率の向上に努めましたが、新規出店による車両増加や、省エネ及び環境対策への取組みの一環として、EV（電気自動車）やハイブリッド車等のエコカー導入を推進したこと及びユーザーの低価格志向への対応等に伴い原価率が上昇したことによる結果であります。

BMW車、フォード車及びジャガー車の3ブランドの輸入車正規ディーラーを運営するカービジネス事業部門の売上は4,059百万円（前年同四半期比451百万円増加）、セグメント損失は1百万円（前年同四半期は2百万円のセグメント利益）となりました。

当第1四半期連結累計期間における国内の新車（登録車）販売台数は608千台と前年同四半期実績（855千台）を大きく下回りましたが、輸入車正規ディーラー業務を運営する当社グループでは、各ブランドのニューモデルを対象とした積極的な販売促進活動の結果、新車販売台数及び新車売上高は前年同四半期を上回りましたものの、価格競争の影響により粗利率が低下したことや中古車販売及び車検・

整備の取扱いも前年同四半期水準の維持に止まったためであります。

ビルメンテナンス事業及び不動産賃貸事業を行なう不動産関連事業部門の売上は113百万円（前年同四半期比3百万円減少）、セグメント利益は29百万円（前年同四半期比1百万円増加）となりました。

不動産関連事業部門は、安定した顧客を確保しており、引続き堅調に推移しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ618百万円増加して14,189百万円となりました。これは、現金及び預金が354百万円、受取手形及び売掛金が100百万円、棚卸資産が178百万円とそれぞれ増加し、流動資産合計が623百万円増加したこと及び固定資産合計が4百万円減少したことによるものであります。

一方、支払手形及び買掛金が740百万円、短期借入金が145百万円増加しましたが、賞与引当金が62百万円、長期借入金（1年以内の返済予定を含む。）が80百万円とそれぞれ減少したことにより、負債合計が748百万円増加して10,772百万円となり、純資産合計は当第1四半期連結累計期間の業績等を反映し129百万円減少して3,417百万円となりました。

その結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は2.0ポイント低下して24.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、足もとの経済情勢から各事業とも引続き厳しい環境下に置かれるものと想定しております。

第1四半期連結累計期間の業績は、四半期純損失を計上しましたが、これは概ね当初予想の範囲内であり、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては平成23年6月20日公表の数値を変更しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,292,919	1,646,991
受取手形及び売掛金	2,212,936	2,313,413
商品及び製品	2,050,137	2,230,596
原材料及び貯蔵品	20,452	18,517
繰延税金資産	57,461	29,845
その他	601,636	604,676
貸倒引当金	△55,813	△41,227
流動資産合計	6,179,731	6,802,814
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,211,373	1,199,860
土地	3,890,088	3,890,088
リース資産(純額)	695,226	710,063
その他(純額)	373,842	379,338
有形固定資産合計	6,170,531	6,179,349
無形固定資産		
のれん	47,022	41,774
その他	24,730	24,402
無形固定資産合計	71,752	66,176
投資その他の資産		
差入保証金	744,937	737,100
繰延税金資産	31,256	30,731
その他	382,201	383,035
貸倒引当金	△9,489	△9,489
投資その他の資産合計	1,148,905	1,141,377
固定資産合計	7,391,190	7,386,903
資産合計	13,570,921	14,189,718
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,793,267	2,534,049
短期借入金	5,076,226	5,222,222
1年内返済予定の長期借入金	283,872	281,028
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
リース債務	317,565	332,474
未払法人税等	80,083	6,980
賞与引当金	117,020	54,821
その他	767,088	833,819
流動負債合計	8,465,122	9,295,393

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年7月31日)
固定負債		
社債	120,000	105,000
長期借入金	558,350	480,226
リース債務	422,041	422,399
繰延税金負債	16,948	16,268
退職給付引当金	330,935	339,802
役員退職慰労引当金	88,347	90,455
その他	22,603	22,846
固定負債合計	1,559,226	1,476,997
負債合計	10,024,349	10,772,391
純資産の部		
株主資本		
資本金	411,250	411,250
資本剰余金	462,500	462,500
利益剰余金	2,688,627	2,560,020
自己株式	△27,174	△27,174
株主資本合計	3,535,202	3,406,596
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,369	10,730
その他の包括利益累計額合計	11,369	10,730
純資産合計	3,546,572	3,417,326
負債純資産合計	13,570,921	14,189,718

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 【四半期連結損益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年7月31日)
売上高	7,256,721	8,118,146
売上原価	5,885,290	6,812,405
売上総利益	1,371,431	1,305,741
販売費及び一般管理費	1,345,765	1,363,071
営業利益又は営業損失(△)	25,665	△57,330
営業外収益		
受取利息	1,063	759
受取配当金	807	864
受取手数料	8,996	14,097
その他	6,739	7,794
営業外収益合計	17,606	23,515
営業外費用		
支払利息	21,498	21,845
その他	1,362	2,401
営業外費用合計	22,860	24,246
経常利益又は経常損失(△)	20,411	△58,061
特別利益		
貸倒引当金戻入額	490	—
特別利益合計	490	—
特別損失		
固定資産除却損	2,103	590
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	33,549	—
その他	1,810	25
特別損失合計	37,462	616
税金等調整前四半期純損失(△)	△16,560	△58,678
法人税、住民税及び事業税	4,447	10,227
法人税等調整額	20,790	27,889
法人税等合計	25,238	38,116
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△41,798	△96,794
四半期純損失(△)	△41,798	△96,794

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△41,798	△96,794
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,390	△639
その他の包括利益合計	△4,390	△639
四半期包括利益	△46,189	△97,434
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△46,189	△97,434
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年5月1日至平成22年7月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ライフエネ ルギー事業	カーライフ サポート事 業	カービジネ ス事業	不動産関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,221,337	320,897	3,606,474	108,013	7,256,721	—	7,256,721
セグメント間の内部売上高 又は振替高	32,942	8,454	1,202	8,547	51,146	△51,146	—
計	3,254,279	329,351	3,607,676	116,560	7,307,868	△51,146	7,256,721
セグメント利益又は損失(△)	△17,727	23,648	2,240	28,406	36,568	△10,902	25,665

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△10,902千円には、セグメント間取引消去58,860千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△69,762千円が含まれております。なお、全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年5月1日至平成23年7月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ライフエネ ルギー事業	カーライフ サポート事 業	カービジネ ス事業	不動産関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,632,077	323,919	4,057,019	105,130	8,118,146	—	8,118,146
セグメント間の内部売上高 又は振替高	34,239	10,789	2,379	8,272	55,680	△55,680	—
計	3,666,316	334,708	4,059,398	113,402	8,173,826	△55,680	8,118,146
セグメント利益又は損失(△)	△47,581	△7,885	△1,386	29,671	△27,182	△30,148	△57,330

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△30,148千円には、セグメント間取引消去32,571千円、各報告セグメントに配分していない全社費用62,719千円が含まれております。なお、全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。